

学会記事

【第2回総会】（2009年6月20日，於：筑波大学筑波キャンパス，参加者33名）

山下清海常任委員長の開会の辞，菅野峰明会長からの挨拶のあと，中西僚太郎を議長，淡野寧彦を書記として選出し総会が始められた。

I. 会務報告について

会員数，大会の開催，機関誌『地理空間』第1巻1号および第1巻2号の刊行，第1～3回例会の開催，ホームページ・メーリングリスト（jags-ml），ニューズレター（第1～第3号）の発行が報告された。

II. 2008年度決算報告・監査報告について

2008年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され，その収支について会計監査人より適正であるとの承認を受けたことが報告された。会計監査人からは，今後の予算案作成に際して，予算項目をより詳細に設定することが提案された。2008年度決算案は異議なく承認された。

III. 2009年度事業計画について

2009年度事業計画について，「地理空間」第2巻1号・2号の刊行，第2回大会の開催，次期大会の開催準備，例会の開催，ニューズレターの発行，ホームページ・メーリングリストの管理・運営が提案された。2009年度事業計画は異議なく承認された。

IV. 2009年度予算案

2009年度予算案について，収入と支出に関する説明がなされた。会計監査人からの提案をふまえ，各項目の内訳を詳細に設定するよう努める旨が述べられた。2009年度予算案は異議なく承認された。

V. 地理空間学会賞の創設について

地理学に関する優れた研究業績を挙げた会員を対象に，地理空間学会賞を授与することが提案された。学会賞の授与対象者を選考するために，学会賞選考委員会を設けることが提案された。2010年度の学会賞授与のために，2009年7月1日より2010年6月30日の1年間を任期として，小林浩二会員を委員長，村山祐司会員を副委員長，矢ヶ崎典隆会員ならびに井田仁康会員を委員とする案が示された。地理空間学会賞の創設と運営は，異議なく承認された。

VI. その他

地理空間学会学術基金について，2009年3月の基金設立から2009年6月までに個人会員7名より31万円の寄付があったことが報告された。

【大会報告】

第2回（2009年6月20～21日 於：筑波大学筑波キャンパス，参加者70名）

・研究発表

加藤晴美（筑波大・院）・清水克志（農村工学研究所）：廻船寄港地御手洗町における花街の景観と地域住民－昭和20年代を中心として－

川久保典昭（水戸第一高）：身近な事例を活用した地理教材の開発と効果

秋本弘章（獨協大学）：これからの地理教育－地理空間情報活用推進基本法との関連で－

岩間信之（茨城キリスト教大学）：中山間地域における高齢者の健康な食をめぐる生活環境問題

仁平尊明（筑波大学）：グローバル化と日本の小麦産業

若本啓子（宇都宮大学）：銘柄和牛肉の質の構築をめぐる地域実践－「とちぎ和牛」を事例として－

淡野明彦（奈良教育大学）：EUにおける鉄道交通体系の革新

・会長講演

菅野峰明（埼玉大学）：サンバルト現象後のアメリカ合衆国南部

・ポスター発表

小林岳人（千葉県立沼南高柳高）：高等学校における地図教育

曾我俊生（筑波大・院）：関東地方における公共ホールの分布構造

橋本 操（筑波大・院）・野間 勉（北海道環境科学研究センター）：ヒグマの胃内容物からみた野生動物と人間の生活空間の関係分析

池田真利子（筑波大・院）：マイノリティー文化の与える都市景観への影響－ブラック・カルチャーを事例として－

菱沼雄介（筑波大・院）：浦安市における都市化の展開と居住者特性の地域差

遠藤貴美子（筑波大・院）：東京におけるガラス食器産業の変容

津田憲吾（筑波大・院）：大型複合施設立地による周辺地域への影響－青物横丁駅から品川シーサイド駅を事例に－

常木正道（筑波大・院）：つくばエクスプレス開業による駅周辺の変容－研究学園駅・守谷駅の事例－

・巡検

【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jags/index.html>

【例会報告】

第5回（2009年10月10日 於：筑波大学東京キャンパス，参加者34名）

発表者および演題

清水克志（農村工学研究所）：地域資源としての在来野菜品種の保全と活用

－山梨県丹波山村の在来種ジャガイモを例として－

渡邊敬逸（小千谷産業開発センター）：研究者の実践とその可能性－地域復興支援員の経験をもとに－

【編集委員会からのお知らせ】

8月：新規投稿「論説」3編，「研究ノート」1編，「調査報告」1編の担当委員および閲読者を決定した。

9月：論説3編，研究ノート1編，調査報告1編について閲読結果をもとに検討し，新規投稿「展望」1編，「調査報告」1編の担当委員および閲読者を決定した。

10月：「論説」3編，「展望」1編，「研究ノート」1編，「調査報告」2編について閲読結果をもとに検討し，「論説」3編，「研究ノート」1編，「調査報告」1編の受理を決定した。

【次号以降の投稿について】

第3巻1号は，2010年6月20日の発行を予定しております。第3巻第1号の原稿については2月末まで，それ以降の原稿につきましても随時受け付けております。内容は最新の論争から時事性，トピック性の高いテーマ，丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために，会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして，会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には，編集委員会（geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp）までお知らせください。

【投稿規程 & 執筆要綱】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jags/index.html

【新入会員】（会員数：229人，2009年11月12日時点）

林 俊樹

Enver. Erdinc. DINC SOY（岡山大・院）

福田行高（東京書籍）